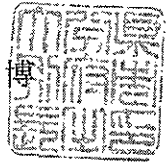


別都政第4-0446号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

別府市長 浜田 博



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

秋涼の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本市の道路行政につきましては、貴職の格別なご配慮とご指導を賜り心から感謝いたしております。

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました上記の件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

担当課 別府市建設部都市政策課

TEL (0977) 21-1471

FAX (0977) 22-9478

○安全・安心な生活道路の整備のための補助メニューの充実

地方都市においては、安全安心な生活道路の整備が必要であるが、事業費の下限の基準等により補助対象にならないケースが多いため、満足な整備ができていない状況で、補助メニューの充実、補助対象基準の緩和、対象金額の撤廃等を検討していただきたい。

1) 狭小幅員の道路整備

別府市においては、戦災を免れたことにより、細街路が多く残存し、安全な市民生活に支障を及ぼしている。広幅員の道路整備は現実的に難しく、最低限の安全を確保するための道路整備や既存道路の改修等においても補助対象にできるようにお願いしたい。

2) バリアフリーを推進するための道路整備

少子高齢化が進んでいる中、交通弱者の円滑な移動を確保するためのバリアフリー化が必要となっているため、補助率のかさ上げ等をお願いしたい。

3) 老朽化した橋梁の耐震化

地震時等の交通機能の確保を図るため、老朽化した橋梁の耐震化について、補助対象基準の緩和等をお願いしたい。

○現状

- ・ 別府市は、温泉を核とした観光都市であるが、観光形態の変化等に伴い産業が停滞ぎみ
- ・ 人口は、外国人の増加等により、減少傾向は全体的に落ち着いてきているが、少子高齢化が顕著で、なおかつ財政状況も厳しい状況
- ・ 戦災を免れたことなどにより、旧市街地の都市基盤整備が遅れており、細街路、一方通行路が多いため、生活道路の安全性に問題がある。また、橋梁の老朽化も目立つ。

○課題

- ・ 広域観光ルートの整備促進
国道 10 号線の早期 6 車線化
東九州自動車道の早期完成
国道 500 号、やまなみハイウェイの整備促進
- ・ 観光産業の新たな展開（ONSEN ツーリズムの推進）
地域住民主体の地域の個性を活かしたまちづくり
- ・ 中心市街地活性化
都市の顔である中心市街地の活気が低下しており、活性化を図る必要がある。平成 20 年 7 月に基本計画の認定
- ・ 生活道路の安全性の向上
安全安心なまちづくりを推進するために、生活道路の安全性の向上を図る必要がある。
- ・ バリアフリー化の一層の推進
身障者や高齢者の移動の円滑化を図るため、交通結節点（JR 別府駅、JR 亀川駅）周辺や主要な道路のバリアフリー化
- ・ 密集市街地の改善
旧市街地では密集市街地が形成されており、避難経路の整備や建物の不燃化を促進するなど、密集市街地の改善が必要
- ・ 橋梁の耐震化と長寿命化
地震時等の交通機能の確保を図るため、老朽化した橋梁の耐震化・長寿命化を促進する。

②-2 地域の目指すべき将来像

○総合計画の基本理念＞『住む人も訪れる人も、いきいきと輝く、豊かな生活交流圏の創造』

- 〃 都市像
- ・湯けむりで象徴される温泉情緒を生かして、海山の自然を享受できる快適な都市空間の創出
 - ・自分が住む地域に深い理解と郷土愛をもつことができるまちを目指すとともに、歴史文化の継承と発展に努めていく
 - ・将来のアジア太平洋時代を視野に入れ、世界の人が集まるにふさわしい質の高い都市環境づくりを進める
 - ・多くの人々との出会いとふれあいにより交流と共鳴の輪を広げ、新しい文化や人材を育む、アジアの国際交流拠点都市として先導的な役割を果たしていく

○日本一の温泉を中心とした観光都市としての魅力づくり

ONSENツーリズムを推進し、地域住民が主体となった地域の個性を活かしたまちづくりを進める。

別府八湯と呼ばれる個性の異なる八つの温泉街の魅力づくりを図る。

路地裏散歩等の地域住民の活動と連携した道路整備等を推進する。

○観光客及び住民の移動の利便性の向上を図るための、広域観光ルート及び都市内幹線道路の整備等

別府湾サービスエリアのスマートICの本格実施

東九州自動車道をはじめとする広域観光ルートの整備促進

インターチェンジ、駅等の交通の要衝と別府八湯をはじめ観光施設等を結ぶ都市内幹線道路の整備

○中心市街地の活性化

都市の顔である中心市街地の魅力を図るため、既存の温泉資源や歴史、文化を最大限に活用しつつ、新たな文化を育みながら、商業の活性化、観光の振興に結び付けていく

○少子高齢化社会に対応した人にやさしいまちづくりの推進

交通結節点周辺のバリアフリー化を図り、身障者や高齢者等をはじめ、あらゆる人に対してやさしい地域づくりを進める

○災害に強いまちづくり

旧市街の密集市街地を形成している地区については、路地裏等の昔ながらの温泉情緒を残しながらも、避難経路の整備、不燃化の促進などにより、密集市街地の改善を図り、また、老朽化した橋梁の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

大分県別府市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・観光都市の魅力づくり	・鉄輪温泉地区まちづくり交付金事業 まちづくり交付金事業により、温泉街らしい石畳の整備、ポットパークの整備等	古くから湯治場として栄え、湯けむり情緒のあふれる鉄輪温泉らしい、浴衣でそぞろ歩きが似合う街並みを整備してくことにより、観光地の魅力をつくっていく。	景観まちづくりを同時に推進し、建築物の街並みの形成を図っている。
・観光客、住民の移動の利便性の向上	・別府湾サービスエリアのスマートIC ・別府八湯をはじめ、観光地を結ぶ幹線道路の整備	観光客、住民の移動の満足度を高めることにより、より多くの観光客の来訪や快適な住民生活の確保につながる。	
・中心市街地の活性化	・別府駅周辺まちづくり交付金事業	駅前広場整備、公園整備、温泉施設整備等や、民間のソフト施策等を展開することにより、別府市の顔として、賑わいを創出していく。	
・バリアフリーの推進	・別府駅周辺まちづくり交付金事業 ・JR 亀川駅交通結節点改善事業 ・交通安全施設等事業	あらゆる人の移動の円滑化を図ることにより、観光客の増加、住民の生活環境の向上が図られる	
・災害に強いまちづくり		密集市街地の改善、老朽化した橋梁の耐震化を図ることにより、住民の安全、安心な生活を確保する。	